

Scenario : type T

『アイアムユー』

■シナリオ解説

1月25日。自宅に帰ったPC1を待っていたのは、両親の惨殺死体だった。両親の隣に立つ謎の幽霊が口を開く。「ユーだよ。私、ユー」 幽霊は退散し、写真が残された。新婚時代の両親を映す写真には、ある文字が……。

■シナリオタイプ：タイムスリップ

(時代跳躍もの。現代[A]では解決できない事件を、現代ではない[B]

時代へワープして解決するシナリオタイプ。事件を解決し、現代[A]へ帰還できればシナリオクリアとなる)

■シナリオ情報

推奨人数：4人以上

必須AF判定数：5

期間：1月25日(1日間)

■シナリオキーワード：

「両親」「中学生」「人生の選択」

●シナリオ前提情報

タイムスリップシナリオのため、舞台はNPCの両親が中学生時代の世界まで逆行する。90年代を想定。

真相

GM限定情報

登場NPC:<NPC1:PC1の母親>
<NPC2:ユー>
<NPC3:PC1の父親>
龍の聖剣(ルールブック P.82)
異端犯罪者『アルティスタ』

セカイが動く理由:<NPC1:PC1の母親>が中学時代に体に埋め込まれてしまった異端の卵を孵化させないようにするため。

シナリオクリア条件:中学時代の<NPC1:PC1の母親>が受けた異端犯罪者『アルティスタ』による中絶手術を阻止する。

シナリオの真相:

<NPC3:PC1の父親>は中学生時代に、同じ中学生である<NPC1:PC1の母親>を妊娠させてしまう。

内密に中絶してくれる闇医者を探した結果、「公開手術ショーの見世物として参加すれば費用を無料にしてくれる」という闇医者こと、異端犯罪者『アルティスタ』に出会ってしまう。

お金の無かった中学生の2人は両親や学校に妊娠の事実を知られたくないため、異端犯罪者『アルティスタ』の経営していたバーの公開手術ショーに参加。しかし異端犯罪者『アルティスタ』はその手術の際に、<NPC1:PC1の母親>に異端の卵を植えつけてしまう。母体の中で眠り続けた異端の卵は、10年以上の月日を経て母親を食い破り、近くにいた父親も殺して新たな被害を求めて飛び去った。

<NPC1:PC1の母親>の体に異端の卵を植えつけないようにしつつ、数年後に被害者を次々と生み出そうとしている異端犯罪者『アルティスタ』を討伐しなければならない。

NPC詳細1

GM限定情報

NPC名:PC1の母親(PC1の年齢+18歳)
クラス:なし(一般人)
武器:聖母のような優しく慈悲深い母性
行動方針1:<NPC3:PC1の父親>の言うことを聞く。

行動方針2:生まれてくる我が子を大切にする。

設定:PC1の実母。18歳のときに第一子であるPC1を出産した。だが中学2年生(14歳)のときに<NPC3:PC1の父親>の子を身ごもり、公開手術ショーで中絶した経験がある。

妊娠の件は本人と<NPC3:PC1の父親>の2人しか知る者はいない。自分が中学生であり、もし子供を産んだとしても満足に育てられないと理性で理解しているため、中絶を進める<NPC2:PC1の父親>に従順になっている。しかしお腹の中の子供に「ユー(優)」という名を与えたり、可能であれば子供に会いたいと考えている。

NPC名:PC2の父親(PC1の年齢+18歳)
クラス:なし(一般人)
武器:力強く包み込むような暖かい父性
行動方針1:<NPC1:PC1の母親>の生活を守る。

行動方針2:<NPC1:PC1の母親>と生きる。

設定:PC1の実父。中学生の<NPC1:PC1の母親>を妊娠させてしまい、闇医者を探して異端犯罪者『アルティスタ』のショーに行きついた。心から<NPC1:PC1の母親>を愛しており、彼女が元通りの生活に戻れるために躍起になっている。一般人だが、知り合いのPC2が能力者であることや、教会のエージェントをやっていること、異端の存在など知っていても構わない。

NPC詳細2

GM限定情報

NPC名:ユー
クラス:稀人 **武器:**声
行動方針1:<NPC1:PC1の母親>と<NPC3:PC1の父親>が幸せであることを願う。

行動方針2:PC1を救う。

設定:PC1の両親が中学時代に身ごもった子供の水子であり、無事産まれてくることができたならPC1の兄か姉にあたる魂。母親に「ユー(優)」という名前を与えられたことで魂が形成し、以後、母親の守護霊として見守っていた。1月24日に異端の卵が孵化するのを察し、両親に危険を伝えようと姿を現すが、与えられたものが自分の名前しか無いため、「ユー。私はユー」としか話せない。

常に母親に憑りついているので、霊媒師が高難易度の判定をすることで存在を察知してもよい。

NPC名:オーナー(名前:関 秀行)
異端名:異端犯罪者『アルティスタ』
クラス:狂戦士/狩人/処刑人
武器:メス、包丁、チェーンソーなど
行動方針1:手術をショーとして成功させ、異端の卵を植え込んで第二、第三の事件を作る。

行動方針2:楽しい生活を続かせる。
設定:廃工場をアミューズメントパークに改装し、不良少年は裏社会に精通した者達の遊び場を提供している敏腕オーナー。年若い者達の、若さゆえの過ちによって途方に暮れる『負の感情』を好んでいる。非行の斡旋場を作るのも、出産公開ショーなど際どい催しをするのも、異端の卵を植え込むことも、全て「楽しいから」という理由で行なっている。巧みな話術で人を圧倒する、軽薄な男。

●シナリオフローチャート NPC(中学生)は、携帯電話やインターネットを扱えないものとする(当時の両親の方針で禁止、など)。

①オープニング:共通

導入:PC全員登場可能。
1月24日。PC1の両親と、PC達の交流シーンを描く。
両親は第一子であるPC1を心から愛していることを演出する。もし交流イベントを挟みまいなら、以下の判定を推奨する。

AF判定:何気ない日常
使用能力値:【体力】or【意志】
難易度:2.5
ラウンド制限:1ラウンド
条件:PC1のみが判定可能。協調行動OK(難易度:6)。
演出:「両親と交流する」演出に成功すること。
成功した場合、PC1は「L:ファンブル無効化」を入手する。

②オープニング:PC1

導入:PC1登場。他PCは自由。
1月25日。PC1は両親が待っている家に帰宅する。自宅は血の匂いで充満しており、母親は腹を裂かれ(異端を産み、内部から食い破られた)、父親は体中を食われ(産まれた異端に食べられた)死亡している。異端は外へ行ったのか、見つからない。
必須イベント:母親の死体の横には、新婚旅行に行った際の写真が血に濡れて落ちている。まだPC1が生まれる前の写真で、2人しか映っていない。写真の裏側に「(父親の名前)&(母親の名前)&YOU」とペンで書かれている。
演出:両親は2人とも、苦痛と恐怖に歪んだ死に顔をしている。

③オープニング:PC2

導入:PC2登場。他PCは自由。
血まみれのPC1宅に近いPC2は、写真を見ているPC1の近くに何者かが立っていることに気付く。
性別不明の人影は「ユーだよ。私、ユー」と呟く。何を問い掛けても「ユー。ユーだよ。私、ユー」としか答えない。
演出:倒れている母親に向かって人影は同じことを繰り返していた。PC2の方を向いても、呟く言葉は同じだ。そして何者かは、唐突に消えた。
※異端者が種人がある場合
【知覚】判定(霊体探知/難易度:10)に成功すると、敵意は無く、寧ろ好意的だと感じる。

④オープニング:PC3

導入:PC3登場。他PCは自由。
「ユー」と名乗る何者かの影が消えた後、龍の聖剣が現れる。龍の聖剣は代償を払えば両親が生きている時代に時間跳躍することを持ちかける。
演出:龍の聖剣「異端による凄惨な死。けれど世界は歪んだ死を認めない。私の手を取ってくれたなら、もう一度世界をやり直すことができるわ」
演出:龍の聖剣の手を取ると、暗転。時間を跳躍する。目を開くと、PC達は全員、PC3の自宅の自室にいた。ただしPC3が中学生時代、<NPC1:PC1の母親>が中学2年生である19××年の自宅である。

⑦クライマックスフェイズ

導入:アルカディアにて、異端犯罪者『アルティスタ』は自作の魔道具を使った凶行に走る。
・両親が「公開手術ショー」に参加を承諾し、PCが両親のショー参加を止められなかった場合
『アルティスタ』はNPC1を手術台というステージに眠らせ、NPC3と共に手術を開始。異端の卵を母体に植えられる。PC達が止めようとしたときは「邪魔者は排除しろ!」と部下達を呼び寄せ、戦闘開始する。
・両親が「公開手術ショー」に参加しない場合
『アルティスタ』は魔道具を発動し、手近にいたPC達の【MP】ダメージを与えて気絶させ、無理矢理ショーの参加者にしてしまう。抵抗した場合は「こういうことをされたくてアルカディアに来たのだろうか?」と部下達を呼び寄せ、戦闘開始する。
戦闘に勝利すると、『アルティスタ』は教会に捕らえられる。前の世界より2ヶ月早く逮捕されることとなり、多くの女性が救われる世界へと書き換わっていく。
闇医者による堕胎手術ができない両親は、相談の結果、家族に打ち明けて正規の手術を受けることにする(『アルティスタ』は手術費が三百万円と説明したが、実際は低額)。
両親は、最も親しいPCに「優を産むべきか、産まないべきか」を相談する。PCの返答で、世界が書き換わる。

⑥ミドルフェイズ

導入:『AF判定:アルカディア行き』を成功した場合。
アミューズメントバー・アルカディアで、オーナーの関(異端犯罪者『アルティスタ』)が現れる。
両親が中絶手術を依頼すると、関は軽快に話し始め、公開手術ショーに参加すれば無料で手術することを提案。金の無い両親はやむなく提案を呑む。
会話の詳細は、『イベントキー:苦渋の決断』参照。
両親とオーナーの関の会話を聞くことができたPCは入手できる。
『AF判定:アルカディア行き』本文の判定を行なった後、クライマックスフェイズに移行する。

⑤ミドル前:19××年1月24日・夜

導入:PC全員登場可能。
19××年の1月24日の夜に時間跳躍したPC達。
・その時代に生きているPCは、記憶を引き継ぐ形で存在する。当時中学生だったPCなら、中学生の姿になっている。平日の日中は中学生として生活すること。
・その時代に存在していないPCは、住む場所や迎え入れる人達のない裸一貫の状態で見れる。その時代に生きているキャラクターの自宅などで寝泊まりすること。
西暦何年に時間跳躍したかを説明し、その時代にあった情景演出をすること。
必須イベント:PC3の友人である<NPC3:PC1の父親>が中学生の姿で見れる。借りた物を返し忘れた、親からお裾分けを渡すように命じられた、など、顔を合わせておくこと。
演出:父親「(PC3を見て) どうした? なんだか、朝に親たことより随分と大人っぽくなったような……気のせいだよ」
「(未来の妻、NPC1のことを問われて) あ、あいつのこと!? なんなな、何だよいきなり!? あいつなら1週間学校を休んでいる。……別に、何にもしてないって……」
ミドルフェイズに行なう『AF判定リスト』を公開。

⑧エンディング:A

導入:NPC1の相談に「産むべきと答える、もしくは、母親の自由意思を尊重した」場合。
家族に打ち明けたと決意した両親は、PC達にお礼を言う。するとPC達の視界が暗転。両親達が生存したため、元の時代に帰り、日常に戻ることができ。
PC1は1D6を振ること。以下のエンディング演出となる。
(1-2)戻ってきた世界には、優という名のPC1の兄、もしくは妹がいる。
(3-4)戻ってきた世界には、優という名のPC1の弟、もしくは妹がいる。
※いずれも、PC1の祖父母の提案で遠方にいる親戚に預けられていたが、このたび再会できた。
(5-6)1月26日。母親がPC1に「新しい家族が増える」とお腹をさすりながら告げる。新しい命を授かったという。

⑧エンディング:Z

導入:NPC1の相談に「産まないべきと答える、もしくは、父親の意見を支持した」場合。
家族に打ち明けると決意した両親は、PC達にお礼を言う。するとPC達の視界が暗転。両親達が生存したため、元の時代に帰り、日常に戻ることができ。
『イベントキー:優』を所持している場合、ウズマキの中で、龍の聖剣に呼び止められる。隣には謎の人影・優が立っており、深くお辞儀をして感謝を伝える。
演出:龍の聖剣「優は、母親から名前を授かった時点で生まれた器無き魂。ずっと母親の近くにいた《守護霊》なの。授かったものは名前だけだから、名前しか喋れない存在。死んでしまった母親の近くで泣いていたところを、世界は悲しい優を救おうとした(だから時間跳躍の代償はPC達には無かったという説明)」

※nの算出の仕方→
PC達が1ラウンドに与えることができるダメージ合計値の目安。
令呪(ダメージロール+20)の使用を含めない最大値で計算すると判りやすい。
※モブエネミーのオスメルールブックP93
【魔1/開1/世1】
3~4体
※『アルティスタ』の行動
アルカディアにいる客を巻き込もうとするので、人質用一般人トループなどを使った戦闘を行なってもよい。
また、危機的状況に陥ったら逃亡を目論む。

※異端犯罪者『アルティスタ』(狂/狩/処)

能力値:体5/反5/知4/理2/意3/幸4
HP/MP:高(目安:[PC人数+1]×n)=[]
命中:高(目安:メインPC【回避値】+3)=[]
回避:中(目安:メインPC【命中値】-2)=[]
防御:低(目安:物理4/霊力4)=[]
行動:高(目安:メインPC【行動値】±1D6)=[]
戦闘移動:[行動値]+5=[]
全力移動:戦闘移動×2=[]
▼<巨大武器> 近至・単体
[2D6+大] [] 点の物理ダメージ。
▼マイナー<封印の牙>
代償3MP・ラウンド間、ダメージ+4。
▼メジャー<乱舞>
代償2MP・命中対象を[範囲(選択)]化。
▼ダメージロール直前<圧縮撃>
代償2D6HP。ダメージ+1.5。
▼ダメージロール直後<特攻>
ダメージ+2D6。同値分、使用者も【HP】か【MP】を減少させる。
▼<クインナップ・オリジナル特技><自作魔道具 発動>
PC全員に【意志】判定(難易度:1.3)。失敗した場合、【MP】-2D6。『イベントキー:討伐依頼』で無効化。
▼戦闘開始前に、モブエネミーを[3~4]体追加する。

シナリオ名『アイムユー』

シナリオキーワード「両親／中学生／人生の選択」

キャラクターレベル3～5推奨シナリオ:レベル【 】開始。

PC1は15歳以下であること。PC3はPC1の両親と同年か、2～3歳の年の差がある幼馴染であること。

ハンドアウト:PC1

コネクション:PC1の母親

関係:家族愛

推奨クラス:狂戦士

君には優しい母がいた。年若く、君のことを何よりも大事にする女性だった。

1月25日。帰宅した我が家は地に染まっていた。

腹を裂かれた母親と、食べ散らかされた父親の死体がある。倒れた母親の近くには、ある写真が落ちていた。どうやら新婚時代の2人が映った写真のようだが……。

セカイのイベント:自宅で両親の惨殺死体と写真を発見する。

コネクション詳細:PC1の母親

PC1の実母。年齢は「PC1の年齢+18歳」とする。一般人。

ハンドアウト:PC2

コネクション:ユー

関係:興味

推奨クラス:霊媒師 or 稀人

君はPC1の一家と親しい関係(親戚、家族ぐるみの親友、ペット)の能力者だ。

1月25日。PC1の家には惨殺死体が残されていた。だが母親の死体の隣に、何者かの人影が立っているではないか。

「ユーだよ。私、ユー」

人影はすぐ消えてしまった。あれは一体……?

セカイのイベント:幽霊を見る。

コネクション詳細:ユー

幽霊らしきもの。人影が視えただけで、人間なのか、性別すら判らない。名前らしきものを聞き出せた。

ハンドアウト:PC3

コネクション:PC1の父親

関係:友情

推奨クラス:聖職者 or 処刑人

君は若い頃から教会のエージェントとして活躍していた、ベテランの能力者だ。

PC1の父親とは子供の頃からの知り合いで、今もなお仲良くしていた。親しい友が死んでしまったなんて認めたくない。

そう思っていると、目の前に龍の聖剣が現れた。彼女が現れたということは、異端によるものなのか。

セカイのイベント:龍の聖剣の手を取り、PC1の両親を救おうとする。

コネクション詳細:PC1の父親

PC1の実父。年齢は「PC1の年齢+18歳」とする。一般人。

ハンドアウト:PC4

ハンドアウト1～3を兼用する。

PC1の場合、PC1の実の兄弟姉妹。年齢は15歳以下であること。

PC2の場合、PC2と共に「ユー」と名乗る謎の幽霊を見る。

PC3の場合、PC3と同様に子供の頃からPC1の父親と親しい仲間である。

・PC達の設定について1

PC達は全員、龍の聖剣と面識がある設定でも構わない。

AF判定リスト

ミドル前に契約OK 契約:マイナー 供給:シーン終了時(1シナリオに1回まで)

1ラウンドで1日が経過する。1ラウンド目を1月24日、2ラウンド目を1月25日とする。

AF判定:N市女子異形化事件

使用能力値:【体力】 or 【幸運】

難易度:高【 】

ラウンド制限:なし

条件:なし

演出:「N市で多発している『腕が3本になったり、ツノが生えたり、異形を孕んだりする女性達は発生した』という異常な事件について調べる」演出に成功すること。

成功した場合、現在教会のエージェント達が追っている事件の詳細を知ることができる。

AF判定:交流「若き母親」

使用能力値:【知覚】 or 【理知】

難易度:低【 】

ラウンド制限:なし

条件:なし

演出:「1週間ほど学校に行っていない、風邪で休んでいるという中学時代の母親と交流する」演出に成功すること。

成功した場合、中学2年生の彼女の現状を知ることができる。

AF判定:調査「若き母親」

使用能力値:【理知】 or 【意志】

難易度:高【 】

ラウンド制限:なし

条件:『イベントキー:母親の事情』を所持していること。

演出:「思い悩んでいる中学2年生の母親について調べる」演出に成功すること。

成功した場合、彼女の深刻な悩みを知ることができる。

AF判定:調査「若き父親」

使用能力値:【理知】 or 【意志】

難易度:中【 】

ラウンド制限:2ラウンド

条件:『イベントキー:母親の事情』を所持していること。

演出:「最近、夜中に外出しているという中学時代の父親について調べる」演出に成功すること。

成功した場合、彼の現状を知ることができる。

AF判定:アルカディア行き

使用能力値:【体力】 or 【幸運】

難易度:高【 】

ラウンド制限:2ラウンド

条件:『イベントキー:アルカディア』を所持していること。

演出:「秘密の娯楽施設『アルカディア』に向かう」演出に成功すること。

成功した場合、教会のエージェント達が3月まで発見できなかったアルカディアに到着することができる。



●AF判定情報・結果

AF判定:N市女子異形化事件

条件:なし

演出:「N市で多発している『腕が3本になったり、ツノが生えたり、異形を孕んだりする女性達が発生した』という異常な事件について調べる」演出に成功すること。

成功した場合、現在教会のエージェント達が追っている事件の詳細を知ることができる。

情報:

(1)現在、教会のエージェント達は「女性達の体に変化する『N市女子異形化事件』」を調査している。PCは、この時代から2ヶ月後の3月に、とあるパーで異端犯罪者『アルティスタ』を逮捕して解決するという事件だということを知っている。

(2)異端犯罪者『アルティスタ』は、己の快楽のために女性達の体に自作の魔道具や異端の卵を植えていた危険人物である。この時代のエージェント達はこれ以上被害者を出さないように必死に捜索しているが、なかなか姿を現さないという。

(3)中高生をターゲットにしている犯人なので、若い子供達が集まるような場所に現れるのではないかと考えられているが……。

『イベントキー：討伐使命』を入手する。

AF判定:交流「若き母親」

条件:なし

演出:「1週間ほど学校に行っていない、風邪で休んでいるという中学時代の母親と交流する」演出に成功すること。

成功した場合、中学2年生の彼女の現状を知ることができる。

情報:

(1)<NPC1：母親>と、とても親しくなることができる。彼女は1週間学校を休んでいるが、どうやら風邪は治っているようだ。しかし元気は無い。

(2)彼女はこの1週間、病院に通っていない。医者体に診てもらおうとすることを拒んでいる。

(3)PCは、彼女の寂しそうな独り言を聞いてしまう。「……私、ユウちゃんに会いたいよ……」

(4)もしユウという人物が誰かと問いつけたとしても、彼女は答えてくれそうにない。何か事情があるようだ。

『イベントキー：母親の事情』を入手する。

AF判定:調査「若き母親」

条件:『イベントキー：母親の事情』を所持していること。

演出:「思い悩んでいる中学2年生の母親について調べる」演出に成功すること。

成功した場合、彼女の深刻な悩みを知ることができる。

情報:

(1)中学生である<NPC1：PC1の母親>は、妊娠している。父親は中学生である<NPC3：PC1の父親>であり、お腹の中の子供は「優（ユウ）」と名付けている。

(2)妊娠していることは、当人達以外は誰も知らない。家族や友人、学校の先生に話していない。自分達だけで処理しようとしている。

(3)<NPC3：PC1の父親>は、赤ちゃんを秘密裏に中絶してくれる闇医者を探して夜中を走り回っている。2ラウンド終了時に手筈が整い、秘密の場所で手術を行なう。

(4)名前を付けてしまった時点で、「優（ユウ）」は既に二人の子供として生まれたようなもの。そう考えているため、本当は生きた優に会いたいと思っている。しかし自分達に子供を育てる力が無いと理解しているため、中絶を決意した。

『イベントキー：優』を入手する。

AF判定:調査「若き父親」

条件:『イベントキー：母親の事情』を所持していること。

演出:「最近、夜中に外出しているという中学時代の父親について調べる」演出に成功すること。成功した場合、彼の現状を知ることができる。

情報:

(1)中学生である<NPC1：PC1の母親>は、妊娠している。父親は中学生である<NPC3：PC1の父親>であり、お腹の中の子供は「優（ユウ）」と名付けている。

(2)<NPC3：PC1の父親>は、赤ちゃんを秘密裏に中絶してくれる闇医者を探して夜中を走り回っている。2ラウンド終了時に手筈が整い、秘密の場所で手術を行なう。

(3)闇医者がいる秘密の場所とは『アルカディア』という、廃工場を娯楽施設へと改装した会員制アミューズメントパークである。日夜、薬の取引や違法なギャンブル、表沙汰にできないものが行なわれており、開催されるショーの参加者になれば大金を手に入れることができるという。

(4)『アルカディア』では、手術の様子を観客に見せるという「公開手術ショー」という目玉企画が開催されている。次のショーの日程は1月25日であり、参加者は常に募集中とのこと。そこに参加すれば無償で手術が受けられると聞いた彼は、彼女を連れて行くつもりだ。

(5)PCが両親に対して【理知】判定（交渉/難易度：8）に成功した場合、両親は公開手術ショーの参加を思い留まる。失敗した場合、両親2人はアルカディアに向かい、姿をくらます。

AF判定:アルカディア行き

条件:『イベントキー：アルカディア』を所持していること。

演出:「秘密の娯楽施設『アルカディア』に向かう」演出に成功すること。

成功した場合、教会のエージェント達が3月まで発見できなかったアルカディアに到着することができる。

情報:

(1)廃工場を防音完備で改装した娯楽施設『アルカディア』に到着する。激しい音楽が鳴り響く中で踊り、未成年が酒を飲み、何かの取引が行なわれ、あちこちでゲームが開催されている。

(2)公開手術ショーの執刀医であり、この施設のオーナーという男を発見する。その顔は、間違いない未来の3月に逮捕される異端犯罪者『アルティスタ』だ。

(3)一般人を無力化する結界《母の腕》を発動させる装置や、人々を興奮状態にさせる《愉悦の波》を発動させる装置など、普通の娯楽施設では考えられない危険な魔道具の山を発見する。

(4)入場者である自分達に危険な魔道具の魔の手が忍び寄る。アルカディアのシーンに登場しているPC全員は【意志】判定を行ない（抵抗/難易度：11）1人でも成功した場合、『イベントキー：討伐使命』を使用することができる。シーンに登場しているPC全員が失敗した場合、全員の【MP】が2D6点減少する。

イベントキー:苦渋の決断

効果:手術執刀医と、若かりし両親の会話を知っていることを表すイベントキー。

怯える中学生に対して、《絶対の自信》を持っているのか明るく笑う男は軽快に捲き立てる。

「赤ちゃんをおろしたいんだよね？ ボクがオペを担当するよ。医師免許あるから安心してね。で、お金の話なんだけどね、三百万円はかかっちゃうかな。学生が頑張ってバイトすれば一ヶ月十万は稼げるじゃん？ 頑張れば支払える額だよ。でも中学2年生だと雇ってくれるところを探すだけでも大変だしショーに参加するのはどうだろう？ 今日のショーに参加するなら半額チャラにしてあげてもいいよ。キミの女の股を聞いて度アッで会場カメラに映すの。エンターテインメントとして参加してくれたら出演料ってことでチャラにしてあげるさ。もしお父さんくんもボクと一緒に中絶手術にメスを持ってくれたら全額タダだよ。キミが孕ませたんだから男も責任取ろう。大丈夫だよ、プロの医者であるボクがちゃんと監督してるから。赤ちゃんをおろしたいんだよね？」

人前で顔感を晒す、なおかつ、プロの医者ではない中学生にメスを持たせる。そんなことなんてやりたくない。本心はそう思っている、彼らは断ることはできなかった。「……はい、やります」

ただの手術で終わらない、知らないうちに母体に異物を混入させられるとは知らず。

イベントキー:討伐依頼

効果:教会から「N市女子異形化事件」解決への依頼をされ、その見返りに情報や支援を受けられるようになったことを表すイベントキー。

事件の犯人・異端犯罪者『アルティスタ』がシーン内にいる場合、「タイミング：オート」で使用できる。使用した場合、『アルティスタ』のオリジナル特技を無効化することができる。

イベントキー:母親の事情

効果:中学2年生の<NPC1：母親>の、何やら込み合った事情を察していることを表すイベントキー。

イベントキー:優

効果:「優」の正体を知っていることを表すイベントキー。